

12. 食科協 10 年のあゆみ (年表)

平成 14 年度 (2002. 07~2003. 03)

活 動 内 容	食品衛生に関する主な社会動向
<p>1. 設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立総会 2002 年 1/29 於全麵連会館 発起人：林 裕造、伊藤 蓮太郎、久井 伸治、榎 孝雄、植松 智之の 5 氏 20 名出席 理事長：林 裕造 専務理事：伊藤 蓮太郎 常任理事：石井 健二、植松 智之、久井 伸治、榎 孝雄、三原 翠 理事：小沼 博隆、古川 研一 監事：北村 忠夫、田中 昇の各氏を選出・就任 ・事務所を全麵連会館 2 階に開設 4/1 ・東京都へ「特定非営利活動法人食品保健科学情報交流協議会」(代表者林 裕造) の認証申請 4/25、東京都認証 7/19 ・設立登記・成立届の法務局受理 7/31 法人登記完了 ・臨時総会 (12/17 於ハピネス・ケア四谷) 73 名 (委任状含む) 出席 事業推進のための活動体制の審議。食品マネジメントシステム部会等の設置を決定。 <p>2. 講演会・勉強会・研修会等</p> <p>①第 1 回食品保健科学情報公開講演会 「食品の安全確保とリスクアナリシス」 (10/4 於国立保健医療科学院白金庁舎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これからの食品安全行政」 小出 顕生 (厚労省食品保健部企画課企画官) ・「リスクアナリシスとは」 牛尾 光宏 (厚労省食品保健部企画課食品国際規格調整官) ・「食品の微生物学的リスクアナリシス」 山本 茂貴 (国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部長) ・「リスクコミュニケーションの考え方及び方法(消費者の立場から)」 小沢 理恵子 (日本生活協同組合連合会くらしと商品研究室長) ・「リスクコミュニケーションの考え方及び方法(企業の立場から)」 新宮 和裕 ((財)日本冷凍食品検査協会部長) <p>②講演会 12/17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今後の食品安全行政について—欧米の食品衛生行政とわが国の対応」 鈴木 富男 (農水省総合食品局消費生活課課長補佐) ・「食品の安全確保に関する国際動向—科学技術の面から—」 林 裕造 (食科協理事長) <p>③食品マネジメントシステム部会「マネジメントシステムとはなにか、ISO14000 との関係」 第 1 回 (2/28 於全麵連会館) (世話人) 三原 翠 (食科協常任理事)</p> <p>3. その他の活動</p> <p>①食科協ニュースレター発行 1 号 (2002 年 10・11 月合併号) ~3 号 (2003 年 2・3 月合併号)</p> <p>②「食品の表示制度に関する懇談会中間とりまとめ」 意見募集 8/20 に対し、食科協意見提出 9/19</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7 月 BSE 対策特別措置法施行 ・8 月 健康増進法公布 ・国内 BSE 発生 8 月 (5 頭目神奈川県) 1 月 (6 頭目和歌山 7 頭目北海道) ・雪印食品の輸入牛肉国産偽装表示 (2001 年 1 月) を契機に日本食品、日本フード等食品不正表示頻発 ・中国産輸入野菜残留農薬問題続発 ・中国産ダイエット食品による健康被害相次ぐ ・3 月 WHO、ベトナム・香港・広東省の SARS 集団発生に緊急情報発表

平成 15 年度 (2003. 04~2004. 03)

活 動 内 容	食品衛生に関する主な社会動向
<p>1. 第1回通常総会 (6/30 於(財)東京都中小企業振興公社)</p> <p>2. 講演会・勉強会・研修会等</p> <p>①食品マネジメントシステム部会 (於全麺連会館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ISO14000 について」 第2回 4/18、第3回 5/23、第4回 6/20 三原 翠 (食科協常任理事) ・「食品の安全システムと HACCP」 第5回 7/11 向井 征二 (ISO9000/140001/HACCP コンサルタント) (於ハピネス・ケア四谷) ・「ISMS 情報セキュリティマネジメントシステム」 第6回 9/12 岡田 正紀 ((株)日本情報セキュリティ認証機構社長) ・「CSR (企業の社会的責任) の必要性とマネジメントシステム」 第7回 2/13 三原 翠 (食科協常任理事) <p>②リスクコミュニケーション部会 (於全麺連会館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回リスクコミュニケーション部会 (食品保健危機管理問題懇談会) 6/6 「リスクコミュニケーションについて」 林 裕造 (食科協理事長) ・第2回リスクコミュニケーション部会 8/29 「食品の微生物汚染におけるリスクコミュニケーションのポイント」 春日 文子 (国立医薬品食品衛生研究所安全情報部第二室長) <p>③会員研修会 「食品の安全確保とリスクアナリシス」 (6/30 於(財)東京都中小企業振興公社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これからの食品安全行政について」 植村 展生 (厚労省食品保健部基準課課長補佐) ・「微生物学的リスクアナリシスの動向について」 熊谷 進 (東京大学大学院農学研究科獣医公衆衛生学教室教授) <p>④第2回公開講演会 (11/19 於日本橋社会教育会館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「最新の食品科学と新たな食品安全行政—食品安全委員会の任務」 一色 賢司 (内閣府食品安全委員会事務局次長) ・「化学物質による有害影響の用量相関—発がん物質を中心に—」 福島 昭治 (大阪市立大学大学院医学研究科教授) ・「食品媒介感染症の研究の現状—主な細菌性・ウイルス性感染症を中心に—」 竹田 美文 (実践女子大学生活科学部教授) <p>⑤ワークショップ 「食品の安全・安心に期待されるリスクコミュニケーションとは」 (1/28 於森下文化センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「行政の立場から」 小川 誠一 (東京都健康局食品医薬品安全部副参事) ・「流通の立場から」 佐藤 邦裕 (日本生活協同組合連合会品質管理部長) ・「消費者の立場から」 池山 恭子 (東京消費者団体連絡センター事務局長) <p>3. その他の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ①食科協ニュースレター4号 (2003年4月号) ~14号 (2004年3月号) 発行 ②食科協ホームページ開設 4/10 ③林理事長: HACCP 連絡協議会「専門講師フォローアップ講習会」講師 5/7 ④林理事長: 東京都食品安全情報評価委員会 (委員長) 7/29、2/19 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月 厚労省食品保健部に輸入食品安全対策室新設 ・4月 ヒトゲノム解読完了 ・5月 BSE カナダ発生に伴うカナダ産牛肉等輸入停止 ・5/30 改正食品衛生法公布 (抜本改正) ・5/30 改正と畜場法公布 ・5/30 改正食鳥検査法公布 ・7/1 食品安全基本法施行 ・7/1 食品安全委員会発足 ・8/29 改正食品衛生法施行 ・10月 改正感染症法公布 ・国内 BSE 発生 10月 (8頭目栃木)、11月 (9頭目広島)、2月 (10頭目神奈川)、3月 (11頭目北海道) ・12/26 アメリカで BSE 発生 米産牛肉等の輸入禁止措置実施 ・12月 牛肉トレーサビリティ法施行 ・冬季 ノロウイルス集団感染事例多発 ・1月 タイ・中国鳥インフルエンザ発生に伴う家禽・鶏肉輸入停止 ・1/12 山口県養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ発生、大分県、京都府にも波及 (2004年4月終息) ・2月 米国・カナダでのインフルエンザ発生に伴う家禽・鶏肉輸入停止 ・2月 食品事業者が実施すべき管理運営基準に関する指針 (ガイドライン) 通知 ・WHO 報告: トランス脂肪酸の虚血性心疾

<p>⑤林理事長：食品安全委員会第1回企画専門調査会で講演「食品安全におけるリスク分析手法の導入について」9/16</p>	<p>患リスク指摘。 FDA、EFSA も同影響公表 この年以降トランス脂肪酸を含む製品の使用規制する国が増える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年末の米国 BSE 発生、国内外の鳥インフルエンザ発生で外食チェーン、食品メーカーへの影響甚大
---	---

平成16年度 (2004.04~2005.03)

活・動・内・容	食品衛生に関する主な社会動向
<p>1. 第2回通常総会 (6/3 於日本橋社会教育会館)</p> <p>関澤 純、森田 邦雄両氏が理事に就任</p> <p>2. 講演会・勉強会・研修会等</p> <p>①食品マネジメントシステム部会 (於全麵連会館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品安全マネジメントシステム勉強会 世話人 三原 翠 (食料協常任理事) ・「食品安全マネジメントシステム規格について」 第8回 4/23、第9回 6/18 ・「食品安全マネジメントシステム規格の解釈と実施について」 第10回 7/30 <p style="text-align: right;">渡邊 清孝 ((有)フード・セイフティ・コンサルティング代表取締役)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ISO22000 研究会 世話人：三原 翠 (食料協常任理事)、渡邊 清孝 ((有)フード・セイフティ・コンサルティング代表取締役) ・第1回 10/19、第2回 11/1、第3回 11/16、第4回、第5回、第6回、第7回 2/15、第8回 3/14 <p>(魚肉練り製品のサプライチェーンを通しての ISO22000 プラン構築のノウハウを学び他業種に成果を広げる)</p> <p>②第3回リスクコミュニケーション部会 (5/13 於全麵連会館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話題提供：「研究の全体計画及び分担計画」 <p style="text-align: right;">関澤 純 (徳島大学総合科学部教授・食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会座長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話題提供：食品安全委員会リスクコミュニケーション専門委員会平成15年とりまとめ (案)「わが国における食の安全に関するリスクコミュニケーションの現状と課題」 <p style="text-align: right;">伊藤 蓮太郎 (食料協専務理事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話題提供：「食の安全・安心フォーラム in 千葉」のパネルディスカッションから」 <p style="text-align: right;">北村 忠夫 (食料協監事)</p> <p>③研修講演会 (6/3 於日本橋社会教育会館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新興感染症と食品安全について」 <p style="text-align: right;">加地 祥文 (横浜検疫所輸入食品検疫検査センター長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6/2 大幅改正消費者基本法公布・同日施行 ・9/9 食品安全委員会 日本における BSE 対策中間とりまとめ公表 ・国内 BSE 発生 9月 (12 頭目熊本)、13 頭目~16 頭目いずれも北海道 9月、10 月、2月、3月 ・11月 厚労省 日本人の食事摂取基準 (2005 年版) 公表 ・12/6 食品安全委員会初めて「ファクトシート」(妊婦のアルコール摂取による胎児への影響、トランス脂肪酸、Q 熱) 公表 <p>これ以後随時ファクトシート公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/4 我が国初の vCJD 症例発生 ・2月 京都議定書発効：二酸化炭素排出削減取り決め ・冬季 ノロウイルスによる感染性胃腸炎頻発 患者数 7,800 人、死亡 12 人

・「食品微生物のリスクアナリシスに関わる国際動向」 春日 文子 (国立医薬品食品衛生研究所安全情報部第二室長)

④第3回公開講演会 新規格「食品安全マネジメントシステム」ISO22000 への取組 (10/5 於日本橋社会教育会館)

・「ISO22000 の成立の経緯と今後の展望」

荒木 恵美子 (ISO/TC34/WG8 専門分科会日本代表委員 (財)日本食品分析センター)

・「ISO22000 の内容とその実際：食品安全マネジメントシステムへの期待と課題」

向井 征二 (ISO/HACCP コンサルタント (有)オービス環境マネジメント研究所)

・「現場から見た ISO22000：新たな食品安全マネジメントシステム導入の実務—ISO/DIS22000 構築に際しての留意点」

渡邊 清孝 ((有)フード・セイフティ・コンサルティング代表取締役)

3. その他の活動

①食科協ニュースレター15号 (2004年4月号) ~25号 (2005年3月号) 発行

②食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会の「わが国における食の安全に関するリスクコミュニケーションの現状と課題 (案)」意見募集に対し、食科協意見提出 6/10

③林理事長：東京都食品安全情報評価委員会 7/16、2/10、3/23

④林理事長：大分県主催 食の安全安心意見交換会「佐伯&臼杵の海の幸・山の幸を食卓から語ろう」 7/27

「食の安全安心とリスクコミュニケーション」講師兼コーディネーター

⑤東京都「江東区民まつり」に参加 (10/16、17 於木場公園)

NPO コーナーブース出展 食品安全よろず相談、食品安全パンフレット配布 (食安委・厚労省・公取委・東京都・江東区より入手)、
食品安全ポスター掲示、HACCP 小冊子販売

⑥林理事長：厚労省「食品の安全に関するリスクコミュニケーションのあり方に関する研究会」座長

第1回 11/5、第2回 11/26、第3回 1/13、第4回 2/7、第5回 3/4

⑦北村監事：東京都江東区生活衛生課職員研修会 講師「リスクコミュニケーション解説」 1/27

⑧関澤理事：日本リスク研究会・食の安全とリスク研究部会勉強会「食品安全のリスクコミュニケーション欧米の経験を聞く」意見交換会出席 2/3

⑨伊藤専務理事：大阪食品衛生協会「食品の安全安心確保と自主衛生管理」講演 2/21

⑩北村監事：千葉県食品衛生協会「食品営業施設の危機管理対策について」講演 2/21

平成17年度 (2005.04~2006.03)

活動内容

食品衛生に関する主な社会動向

1. 第3回通常総会 (6/28 於(財)東京都中小企業振興公社)

・4/1 個人情報保護法完全施行

渡邊 清孝氏が常任理事に就任

2. 講演会・勉強会・研修会等

①食品マネジメントシステム部会（於全麵連会館）

・ISO22000 研究会 世話人：三原 翠（食料協常任理事）・渡邊 清孝（食料協常任理事）

第9回 4/12、第10回 5/17、第11回 6/14、第12回 7/19、第13回 8/19、第14回 9/13、第15回 10/18、

・第1回 ISO22000 編集会議 12/12、1/12、2/17、3/20 世話人：渡邊 清孝（食料協常任理事）三原 翠（食料協常任理事）

②食品衛生管理士フォローアップ研修会 4/29 （社）日本食品衛生協会との共催

「食品等事業者の自主衛生管理の支援」 伊藤 蓮太郎（食料協専務理事）

③会員研修会 「食品の安全に関するリスクコミュニケーションのあり方」（6/28 於（財）東京都中小企業振興公社）

・厚労省の立場から 高原 弘海（厚労省医薬食品局食品安全部企画情報課長）

・国際的視点から 山田 友紀子（農水省消費安全部消費安全政策課長）

④第4回公開講演会（10/4 於日本橋社会教育会館）

・「ISO22000 の内容と最新情報」 荒木 恵美子（ISO/TC34/WG8 専門分科会日本代表委員・（財）日本食品分析センター）

・「ISO22000 の導入の実際」 渡邊 清孝（食料協常任理事・（有）フード・セイフティ・コンサルティング代表取締役）

・Q&A シンポジウム

「JAB における認定の仕組み、ISO22000 への取組み」 寺部 哲央（（財）日本適合性認定協会システム認定部認定グループ長）

⑤食品のヘルスクレーム勉強会（11/10 於全麵連会館）

・「食品の栄養及びヘルスクレームについて—日本・欧米の現状、CODEX の検討状況」

浜野 弘昭（NPO 法人日本国際生命科学研究機構理事・ダニスコジャパン（株）学術技術担当最高顧問）

3. その他の活動

①食料協ニュースレター26号（2005年4月号）～36号（2006年2月号）発行

②林理事長：混合物吸入の呼吸器系への影響に関する国際会議 4/25～28 講演「有害性を特定するための試験計画」

③伊藤専務理事：千葉県食品安全協議会出席 4/15、10/25、2/27

④林理事長：東京都食品安全情報評価委員会出席 5/16、6/30、7/19 8/24、9/12、11/1、12/22、3/29

⑤伊藤専務理事：千葉県東葛地区実行委員会主催食の安全・安心確保のためのタウンミーティング発表 5/28

⑥伊藤専務理事：千葉県食品安全条例（仮称）検討作業委員会出席 6/13、7/14、8/4、9/6、9/16、10/14、

⑦伊藤専務理事：静岡県集団給食協会浜松支部講演 7/8

⑧北村監事：大分県食の安全確保推進本部主催「食の安全と安心—なぜ不安なのか—」意見交換会講師兼コーディネーター 7/26

⑨林理事長：大分県食の安全確保推進本部主催「食の安全と安心—なぜ不安なのか—」意見交換会講師兼コーディネーター 8/30、31

⑩伊藤専務理事：（株）アルボース食品衛生セミナーコーディネーター 9/7

・国内 BSE 発生 8 頭（17 頭目 4 月～24 頭目 2 月）24 頭目の長崎を除き他はいずれも北海道

・7 月 BSE 検査対象の牛の月齢が 21 ケ月以上に改正

・9/1 ISO22000 規格発行

・10 月 中国で鳥インフルエンザによる初の死者

・12/12 米国・カナダ産牛肉等の輸入再開、1/20 再度停止

・平成の市町村大合併

この年ピーク 平成 11 年 3 月末 3,232 市町村が 18 年 3 月末で 1,821 市町村にほぼ半減

- ⑪北村監事：食安委・厚労省・農水省・千葉県共催「食品に関するリスクコミュニケーション（輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会：千葉市）」コーディネーター 9/9
- ⑫北村監事：千葉県主催食品の安全に関する意見交換会
基調講演「食品の安全・安心におけるリスクコミュニケーションについて—考えよう食の安全—」11/2 佐倉市、11/9 君津市、11/30 市川市
- ⑬国際食品規格の活動等に関するアンケート調査を「食品安全に係るリスク評価・リスクコミュニケーションの国際比較と運用のあり方」研究（班長：関澤純（徳島大教授、食科協理事））への研究協力として実施 11/10
対象：11/10 食品ヘルスクレーム勉強会参加者、食科協会員、一部の食品衛生監視員
- ⑭北村監事：船橋市・同医師会等主催ヘルシー船橋フェア 「食品の安全・安心に関するリスクコミュニケーション」講演 1/27
- ⑮北村監事：大分県食品衛生監視員・と畜検査員研究発表会 特別講演「リスクコミュニケーションと食の安全・安心対策」 2/16
- ⑯林理事長：厚労省「食品の安全に関するリスクコミュニケーションのあり方に関する研究会」座長 3/13

平成18年度 (2006.04~2007.03)

活動内容	食品衛生に関する主な社会動向
<p>1. 第4回通常総会 (5/29 於(財)東京都中小企業振興公社) 久井 伸治常任理事が退任し、森田 邦雄理事、北村 忠夫監事両氏が常任理事に、中川 則和氏が監事に就任</p> <p>2. 講演会・勉強会・研修会等</p> <p>①会員研修講演会 (5/29 於(財)東京都中小企業振興公社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康食品に係る制度とその安全性の確保について」 北島 智子 (厚労省医薬食品局食品安全部基準審査課新開発食品保健対策室長) ・「東京都における食品安全施策について」 八木 憲彦 (東京都福祉保健局健康安全室長) ・「東京都におけるポジティブリスト制度への対応について」 小川 誠一 (東京都保健福祉局食品監視課長) <p>②食品衛生管理士フォローアップ研修会 (6/15 於千駄ヶ谷区民会館 (社)日本食品衛生協会との共催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「残留農薬等のポジティブリスト制度の円滑な実施に向けて—制度の概要と残留農薬検査の対応」 河村 成彦 (厚労省医薬食品局食品安全部基準審査課課長補佐) ・「EUにおける農薬の残留規制の現状、農薬等の安全性評価例等」 森田 邦雄 ((社)日本乳業協会常務理事) ・「食品等事業者のためのコンプライアンスと危機管理」 高谷 幸 ((社)日本食品衛生協会常務理事) ・「食品の自主衛生管理の変遷と今後のあり方」 伊藤 蓮太郎 (食科協専務理事) <p>③第5回公開講演会 「食品企業におけるコンプライアンスを考える」(11/20 於(財)東京都中小企業振興公社)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5/29 「農薬、飼料添加物、動物用医薬品に関するポジティブリスト制度」施行 ・国内 BSE 発生 8 頭 (25 頭目 4 月 ~32 頭目 2 月) 25 頭目岡山を除き他は北海道 ・7 月 第 29 回 CODEX 委員会総会で食品中のカドミウム国際基準値採択 精米 0.4ppm ・7/27 米国産牛肉の輸入再開 ・12 月 乳児ボツリヌス症発生 飲料水が原因報告は国内外初事例 ・冬季 ノロウイルス猛威 全国規模で拡大 2006 年ノロウイルスによる食中毒 499 件 患者数 27,616 名 ・WHO に報告された 2006 年のヒトの高病原

- ・「CSR とは、CSR の取り組みの現況と課題」 島野 康 (独)国民生活センター審議役)
- ・「PL 法による食品安全に関する訴訟及び企業の対応」 柴田 純夫 ((株)ヒューマンソフト取締役副社長・(社)消費者関連専門家会議常任理事)
- ④会員向け ISO22000 導入講習会 (11/6、15、24 於全麺連会館) 渡邊 清孝 (食科協常任理事)
- ⑤ワークショップ:「輸入食品検査の現状と方向性」(2/26 於銀座ブロッサム)
 - ・「CODEX の「リスクに基づく輸入食品検査の原則とガイドライン」及び我が国における輸入食品検査の現状」
 - 鶴見 和彦 (厚労省医薬食品局食品安全部輸入食品安全対策室長補佐)
 - ・「輸入食品の安全確保について」
 - ・輸入業者の取組み 高井 道彰 (伊藤忠商事(株)食品安全管理室長)
 - ・消費者からの意見、要望 池山 恭子 (東京消費者団体連絡センター事務局長)
 - ・今後の検討課題 森田 邦雄 (食科協常任理事)

3. その他の活動

- ①ニュースレター37号(2006年3月号)～47号(2007年3月号)発行
- ②食科協 ISO22000 編集会議 5/9、7/31
- ③「ISO22000 準拠 食品事業者のための食品安全マネジメントシステム構築ガイド」食科協 ISO22000 研究会編著
日本食糧新聞社より出版 10/25
- ④北村常任理事:千葉県主催「食品等の安全に関する意見交換会」講師兼コーディネーター 7/14、21、26
- ⑤北村常任理事:千葉県食品等安全・安心協議会 7/18
- ⑥林理事長:東京都食品安全情報評価委員会 7/27、10/25、3/29
- ⑦森田(邦)常任理事:大分県主催「食品の安全性に関するリスクコミュニケーション 農薬等のポジティブリスト制度について」
基調講演兼コーディネーター 8/22、23
- ⑧林理事長:平成18年度東京都食品安全情報評価委員会情報選定専門委員会 9/6、2/1
- ⑨伊藤専務理事:HACCP 連絡協議会「専門講師フォローアップ講習会」、パネリスト 9/29
- ⑩伊藤専務理事:富士貿易(株)系 TOP 会主催講演会 講演「ポジティブリスト制度と輸入食品の安全確保」 10/5
- ⑪伊藤専務理事:(株)アルボース主催セミナー座長、講演「食品衛生管理の推進」 10/6
- ⑫東京都「江東区民まつり」参加、食品安全に関する子供対象クイズラリー、パンフレット配布(食安委・厚労省・江東区等より入手)(10/14、15
於木場公園)
- ⑬伊藤専務理事:「千葉県 GMO 栽培指針検討会」 11/27、1/22、3/13
- ⑭石井常任理事:大分県主催「食品添加物についてのリスクコミュニケーション」講師兼コーディネーター 11/28、29
- ⑮林理事長:厚労省・奈良県・奈良市共催「食品に関するリスクコミュニケーション～健康食品の正しい理解のために～」
講師兼パネリスト 12/15
- ⑯伊藤専務理事:TMR と連携した大阪商工会議所主催セミナー アドバイザー 2/20

性鳥インフルエンザ(H5N1)感染確定は9カ国116症例、死者8カ国80人

- ・1月 不二家、消費期限切れの牛乳使用のシュークリーム製造が発覚。規格を超える細菌数を検出しながらも出荷。
- ・3月 米国でメラミンを含む中国産原料使用のペットフードで多数の犬猫死亡事故発生、これを機に中国産食品・医薬品の安全性問題となる。

平成19年度 (2007.04~2008.03)

活 動 内 容	食品衛生に関する主な社会動向
<p>1. 第5回通常総会 (5/21 於(財)東京都中小企業振興公社)</p> <p>2. 講演会・勉強会・研修会等</p> <p>①会員研修会 (5/21 於(財)東京都中小企業振興公社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食品中の残留農薬・添加物、食品等の規格基準に係る現状と今後の課題」 松田 勉 (厚労省医薬食品局食品安全部基準審査課長) ・「JAS法に基づく適正な食品表示のための取組み (監視を中心として)」 藤井 恭二 (農水省消費安全局表示規格課食品表示規格監視室長補佐) <p>②ワークショップ「食品製造加工施設におけるリスク管理—ずさんな衛生管理を防止するために—」(6/12 於(財)東京都中小企業振興公社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大手洋菓子工場に対する衛生管理の改善について」 小島 博通 (埼玉県保健医療部食品安全課) ・「食品工場におけるリスク管理につて」 宇田川 将生 (東京海上日動リスクコンサルティング(株)) ・「わが業界の自主衛生管理」 <ul style="list-style-type: none"> ・製造業 中村 善治郎 ((社)日本弁当振興協会) ・販売業 佐藤 邦裕 (日本生活協同組合連合会) ・輸入業 鳥羽 茂 (輸入冷凍野菜品質安全協議会) ・「消費者からの食品事業者への要望」 市川 まりこ (消費生活コンサルタント) <p>③第6回公開講演会 「輸入食品等の安全性確保のための意見交換会」(10/16 於日本橋社会教育会館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「輸入食品等の安全確保について」 今川 正紀 (厚労省医薬食品局食品安全部情報企画課検疫所業務管理室衛生専門官) ・「輸入食品の安全確保対策」 <ul style="list-style-type: none"> ・東京都の施策 中村 憲久 (東京都福祉保健局健康安全室食品監視課長) ・消費者の要望 市川 まりこ (消費生活コンサルタント) ・輸入鰻の安全確保対策 稲垣 信起 (日本鰻輸入組合副理事長) ・輸入冷凍野菜の安全確保対策 丹野 修 (輸入冷凍野菜品質安全協議会事務局長) ・輸入食品全体の安全確保対策 西山 義樹 ((社)日本輸入食品安全推進協会常務理事) <p>3. その他の活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6/5 厚労省サカザキ菌のハザードに対処する「乳児用調製粉乳の安全な調乳、保存および取り扱いに関するガイドライン」を公表 ・国内 BSE 発生3頭 (33頭目7月~35頭目3月) いずれも北海道 ・偽装表示事件相次ぐ 6月以降「ミートホープの牛ミンチ」、「白い恋人」、「比内鶏」「船場吉兆」「マクドナルド」が、牛肉、菓子、鶏肉、生菓子、惣菜等虚偽の原材料表示、期限表示の不正が次々と明らかになり消費者の信頼揺らぐ。 ・9月 いか塩辛(低塩加工)腸炎ピブリオ食中毒9都県で患者620人発生 ・12月 中国天洋食品製冷凍餃子に混入された有機リン系農薬メタミドホスによる食中毒発生。

- ①ニューズレター48号(2007年4月号)～58号(2008年3月号)発行
 ②畑中盛人食料協 HACCP/FSMS 部長:日本ナッツ協会講演会 講師 5/22
 ③林理事長:東京都食品安全情報評価委員会 6/5、12/4
 ④林理事長:厚労省「健康食品の安全確保に関する検討会」 7/10
 ⑤榎常任理事:大分県主催「健康食品に関する意見交換会」コーディネーター 7/17、18
 ⑥伊藤専務理事:「千葉県 GMO 検討会」 8/1、12/21、3/19
 ⑦農水省消費安全局表示規格課「表示のあり方検討会」へ「食品の業者間取引等の表示のあり方に関する意見」提出 11/30
 ⑧伊藤専務理事:(社)海洋水産システム協会「トレーサビリティ普及勉強会」講師 1/30、3/11
 ⑨石井常任理事・東島弘明食料協会員:三鷹市消費者活動運営協議会勉強会「くらしの中の食品安全問題」講師 2/13

平成20年度 (2008.04～2009.03)

活動内容	食品衛生に関する主な社会動向
<p>1. 第6回通常総会(5/27 於日本橋社会教育会館)</p> <p>2. 講演会・勉強会・研修会等</p> <p>①会員研修講演会 (5/27 於日本橋社会教育会館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「消費者・生活者を主役とした行政への転換に向けて 「食べる」の関連を中心に」 高橋 義明(内閣府国民生活局総務課調査室室長) ・「輸入加工食品の自主管理に関する指針(ガイドライン)(案)について」 近藤 卓也(厚労省食品安全部監視安全課輸入食品安全対策室輸出調査専門官) <p>②第1回食の安全相談事業検討会 (7/30 於全麺連会館)</p> <p>「食に対する消費者・生活者の信頼性向上のため(食品事業のさらなる発展のため)、食品事業者は具体的に何をすべきか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品業界の信頼性向上自主行動事業について 戸田 俊一(農水省総合食料局食品産業振興課課長補佐) ・意見交換会 「食品事業者は消費者・生活者の視点に立った食品事業を推進するべきである。その問題点と解決策は何か？」 <p>③第7回公開講演会「生活者の視点に立った食品安全安心行政の推進に向けて」(11/18 於日本橋社会教育会館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者行政の一元化に向けた取組について 前中 康志(内閣官房消費者行政一元化準備室主査) ・食品安全行政の現状と課題 熊谷 優子(厚労省食品安全部監視安全課課長補佐) ・JAS法に基づく食品表示行政の現状と課題 吉松 亨(農水省消費・安全局表示・規格課課長補佐) ・消費者の目線から見た食の安全性について 宗林 さおり(独)国民生活センター商品テスト部調査役) <p>④関澤研究班ワークショップ「考えよう 食品安全情報のあり方わかりますか用語の意味」(2/20 於銀座プロッサム)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4/22 薬物中毒事案を踏まえ「食品事業者が実施すべき管理運営基準」を改訂 ・6月 ウナギ・飛騨牛の産地偽装 ・6/3 えび・かにをアレルギー表示の特定原材料に含む旨施行規則を改正 ・6/5 厚労省 輸入加工食品の自主管理に関する指針(ガイドライン)公表 ・6/18 大量調理施設衛生管理マニュアル改正 ・7/4 特別用途食品制度のあり方検討会報告書公表 ・9月 三笠フーズ他による国が非食用として輸入したカビや残留農薬等規格外の事故米を食用に転売 ・9月 中国でメラミン混入牛乳由来粉ミルクによる乳幼児の健康障害、死亡事故発覚。 ・国内 BSE 発生1頭(36頭目1月)北海道

<p>2つのテーマ（「食品安全委員会の用語集」、「最近の食品安全・偽装表示の報道」）について5グループに分かれ討議・発表・質疑応答</p> <p>⑤第2回食の安全相談事業検討会 「実行可能な食の安全確保システムの導入のために」（2/25 於全麺連会館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な考え方 北村 忠夫（食科協常任理事） ・システムの構築へ向けての留意点 榎元 徹也（食科協品質保証事業部長） ・（社）日本冷凍食品協会の新たな認定事業 山本 宏樹（（社）日本冷凍食品協会常務理事） <p>⑥関澤研究班ワークショップ「地方自治体におけるリスクコミュニケーション」（3/17 於（財）東京都中小企業振興公社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの趣旨と討論の進め方 関澤 純（徳島大学教授） ・リスクコミュニケーションにおける自治体の役割 中村 憲久（食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会委員・東京都福祉保健局健康安全部食品監視課長） <ul style="list-style-type: none"> ・自治体における取組みの事例 ・東京都のリスクコミュニケーション事例「食の安全調査隊」 館山 優乃（東京都福祉保健局健康安全部健康安全課） ・兵庫県のリスクコミュニケーションについて 荻野 楊子（兵庫県健康福祉部健康局生活衛生課） ・宇都宮市における取組の事例 関 哲（宇都宮市保健所生活衛生課） ・グループ討議 <p>各 テーマ：「伊藤ハム自主回収事件例」、「賞味期限切れ食品を販売するのは法律違反か?」、「事故米報道について」、「期限表示と違反食品」、「伊藤ハムのコンプライアンスについて」で 5グループに分かれ討議・発表・質疑応答</p> <p>3. その他の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ニュースレター59号（2008年4月）～68号（2009年2・3月合併号）発行 ②伊藤専務理事：日本食品工業倶楽部で「高度な食品安全確保のための監視指導と自主衛生管理」講演 4/15 ③北村常任理事：千葉県主催 平成20年度食品衛生検査部門責任者等研修会で「企業の食品衛生に係る自主衛生管理体制について」講演 8/21 ④伊藤専務理事：（株）アルボース主催セミナー「新型インフルエンザ」座長 9/4 ⑤榎元品質保証事業部長：全国製麺協同組合連会、全国めん類衛生技術センター共催研修会で「食品企業における安全衛生管理の取り組み」講演 3/3、19 	<p>これ以後 2013年3月現在 発生事例は無い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月メキシコ・アメリカで豚インフルエンザ（H1N1 亜型ウイルス）の患者 37例発生報告
---	---

平成21年度（2009.04～2010.03）	
活動内容	食品衛生に関する主な社会動向
<p>1. 第7回通常総会（6/3 於（財）東京都中小企業振興公社）</p> <p>2. 講演会・勉強会・研修会等</p> <p>①会員研修講演会「食品の安全性確保とマスコミの役割」（6/3 於（財）東京都中小企業振興公社）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5/27 国際獣疫事務局（OIE）日本のBSEステータスを「管理されたリスク」に決定 ・5/29 厚生省日本人の食事摂取基準（2010

<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品の安全性確保とマスコミの役割 報道機関の立場から 中村 雅美 (江戸川大学教授 前日本経済新聞社編集委員) ・ 食品の安全性確保とマスコミの役割 科学ライターの立場から 松永 和紀 (科学ライター) ② 関澤研究班との研究協力ワークショップ「クイズ輸入食品」(10/22 於(財)東京都中小企業振興公社) ③ 第8回公開講演会「食品の安全性確保とマスコミの役割 その2」(11/11 於日本橋社会教育会館) <ul style="list-style-type: none"> ・ 食品の安全性確保に関するマスコミ報道の現状と課題 小島 正美 (毎日新聞社編集委員) ・ 日本生協連の消費者信頼に応えるための品質保証再構築計画 内堀 伸健 (日本生活協同組合連合会執行役員・品質保証本部長) ④ 公開シンポジウム「特定保健用食品(トクホ)と健康食品を通して食と健康のあり方を考える ～行政・業界・消費者がともに課題を解決するために～」(1/25 於南青山会館) <ul style="list-style-type: none"> ・ NACS 意見書説明および問題提起 蒲生 恵美 (日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会食生活特別委員会副委員長) ・ トクホと健康食品におけるメディア報道 松永 和紀 (科学ライター) ・ 健康食品とその適切な利用のあり方 梅垣 敬三 (国立健康栄養研究所) ⑤ 新リスクコミュニケーション体験ワークショップ(クイズ食品添加物) (1/29 於(財)東京都中小企業振興公社) <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しいリスクコミュニケーション手法の趣旨と手順の解説 関澤 純 (食品総合研究所特別研究員) ・ 食品添加物に関するよくある Q&A 佐仲 登 (日本食品添加物協会常務理事) ⑥ 品質保証事業検討会「コーポレートガバナンスの確立とコンプライアンスの徹底」(3/3 於全麺連会館) <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な考え方について 樋浦 憲次 ((社)日本べんとう振興協会専務理事) ・ わが社の取組について 池本 正巳 (ハウス食品(株)カスタマーコミュニケーション本部 CSR 推進室長) <p>3. その他の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ニュースレター69号(2009年4月号)～80号(2010年3月号)発行 ② 林理事長、伊藤専務理事他食科協役員が、FFI ジャーナル Vol.214 特集：食品の安全を守るシステム ―現状と課題について― に執筆 4月 ③ 榎元品質保証事業部長：(財)日本科学技術連盟食品安全特別講演会で「食品企業の食品安全衛生管理―推進する上で大切なもの―」講演 7/14 ④ 林理事長を編集委員長に、伊藤専務理事が編集幹事、石井常任理事、森田(邦)常任理事、中川監事が編集委員に参加、北村常任理事、関澤理事、渡邊常任理事他が執筆に参加した「食品安全ハンドブック」が丸善より出版された。1月 ⑤ 伊藤専務理事：三鷹市消費者協議会主催意見交換会 出席 2/5 	<p>年版)を公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9/1 消費者庁発足 ・ 10月 個人輸入した無承認無許可医薬品ホスピタルダイエットによる健康被害により死亡事例 ・ 10/21 大阪府の養豚農場で H1N1 亜型の新型インフルエンザウイルスを確認 ・ 3/31 宮崎県で口蹄疫発生(28万8643頭を殺処分 2010年7月4日の終息確認)
---	--

平成22年度 (2010.04～2011.03)	
活 動 内 容	食 品 衛 生 に 関 す る 主 な 社 会 動 向
1. 第8回通常総会 (6/1 於(財)東京都中小企業振興公社) 林 裕造理事長が会長に、関澤 純理事が理事長に就任、榎元 徹也氏が常任理事に就任、小沼 博隆理事が退任し、池上 幸江、佐藤 猛	・ 5/12 栄養表示基準の相対表示の取り扱い通知される

男岡氏が理事就任

2. 講演会・勉強会・研修会等

①会員研修講演会 (6/1 於(財)東京都中小企業振興公社)

- ・消費者への食品情報の提供のあり方について 吉松 亨 (農水省消費・安全局表示・規格課課長補佐)
- ・トランス脂肪酸の健康影響等について 畝山 智香子 (国立医薬品食品衛生研究所安全情報部第三室室長)

②第9回公開講演会 (10/5 於日本橋社会教育会館)

「みんなで考えよう！ 食品リコールの現状と課題 ～「健康に影響ありませんが回収します」という発表をどう考える？～」

- ・食品リコールの現状と課題 古谷 由紀子 ((社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任理事)
- ・パネルディスカッション
- ・消費者の立場から 阿南 久 (全国消費者団体連合会事務局長)
- ・味の素(株)の取組み 天明 英之 (味の素(株)健康ケア事業本部専任部長)
- ・報道機関の立場から 畑 武尊 (読売新聞社社会部記者)
- ・東京都の取組み 帯刀 敏彦 (東京都福祉保健局食品監視課課長補佐)
- ・意見交換会 上記の講師に加え 米倉幸夫 ((社)日本青果物輸入安全推進協会安全問題専門委員長) 参加

③「食の安全ナビ検定クイズ」の活用経験交流ワークショップ (1/25 於銀座プロッサム)

各都道府県市特別区の食品衛生監視員等を対象にしたワークショップ「リスクコミュニケーションの新たな展開方向を探る～「食の安全ナビ検定クイズ」の活用経験をベースにして～」

- ・挨拶と開催趣旨の説明 関澤 純 (食科協理事長)
- ・「食の安全ナビ検定クイズ」の活用経験報告
- ・千葉県の報告 秋谷 英之 (千葉県健康福祉部衛生指導課食品安全対策室副主幹)
- ・熊本県の報告 内藤 昌治 (熊本県環境生活部食の安全・消費生活課主管)
- ・関連プログラムの実施経験から岐阜県の報告 内田 俊之 (岐阜県健康福祉部生活衛生課食品安全推進室担当主査)
- ・群馬県の報告 手塚 秀 (群馬県健康福祉部食品安全局食品安全課安全推進係長)
- ・東京都におけるリスクコミュニケーションの現状 渡部 浩文 (東京都福祉保健局健康安全部食品医薬品情報担当課長)
- ・グループによる「食の安全ナビ検定クイズ」演習と実地体験 グループ発表と意見交換

④ワークショップ「トランス脂肪酸、原料原産地の表示を考える」 (3/17 於全麺連会館)

3. その他の活動

①ニューズレター81号 (2010年4月号)～92号 (2011年3月号) を発行

②関澤理事長：(財)日本科学技術連盟第6回特別講演会で「食品安全におけるリスクコミュニケーションの重要性」講演 2/4

- ・6/4 えび・かにを含む食品のアレルギー表示の特定原材料としての表示完全施行 (平成20年6月3日食衛法施行規則改正)
- ・12/28 消費者庁、「こんにやく入りゼリー等による窒息事故の再発リスクの低減に係る周知徹底及び改善要請」を関係事業団体に通知
- ・3/11 東日本大震災発生
東京電力福島第1原子力発電所炉心溶融起こす。水素ガス爆発により大量の放射性物質が大気に放出
- ・3/17 厚労省放射能汚染された食品の取り扱いについて (所謂暫定規制値) を通知

<p>③ 関澤理事長：厚労省科学研究所事後評価会議 2/16</p> <p>④ 関澤理事長：環境リスク評価ワークショップで「動物発がんデータのヒトへの適用妥当性について発がん作用様式の検討」講演 2/18</p> <p>⑤ 関澤理事長：(社)日本青果物輸入安全推進協会総会前の講演会で「食品安全リスクコミュニケーションの現状と今後の課題」講演 2/25</p> <p>⑥ 関澤理事長：平成 22 年度第 2 回徳島県食の安全安心審議会会長として出席 3/10</p> <p>⑦ 関澤理事長：日本リスク研究学会理事会 3/11</p> <p>⑧ 関澤理事長：毎日新聞(朝刊社会欄)「野菜と原乳の放射線汚染への対応」コメント 3/21</p> <p>⑨ 関澤理事長：朝日新聞(夕刊 1 面)「出荷対象外の忌避を避けるべき」コメント 3/22</p> <p>⑩ 関澤理事長：読売新聞(朝刊くらし欄)「放射能リスクの説明に工夫を」コメント 3/30</p>	
--	--

平成 23 年度 (2011.04~2012.03)

活 動 内 容	食品衛生に関する主な社会動向
<p>1. 第 9 回総会 (5/24 於日本橋社会教育会館)</p> <p>伊藤 蓮太郎専務理事、植松 智之常任理事、黒田 晃監事が退任、伊藤 蓮太郎氏顧問に就任</p> <p>森田 邦雄常任理事が専務理事、東島 弘明氏、森田 満樹氏が常任理事に、菊池 傑氏が監事に就任</p> <p>2. 講演会・勉強会・研修会等</p> <p>①放射物質による食品汚染の基礎を学ぶ勉強会 (5/11 於森下文化センター)</p> <p>「飲食物の放射線汚染を考える為の基礎知識」 小林 泰彦 (独)日本原子力開発機構高崎量子応用研究所研究主席)</p> <p>②公開シンポジウム「放射性汚染と食品安全対応について考える」 (5/24 於日本橋社会教育会館)</p> <p>・基調講演 1 「放射線の健康リスクと放射線防護」 甲斐 倫明 (大分県立看護科学大学教授)</p> <p>・基調講演 2 「放射性物質に関する緊急とりまとめについて」 熊谷 進 (内閣府食品安全委員会委員長代理)</p> <p>・解説 1 「ADI と ARfD の考え方と食品安全対応」 斎藤 勲 (東海コープ事業連合顧問)</p> <p>・解説 2 「遺伝毒性発がん物質のリスク評価について」 畠山 智香子 (国立医薬品食品衛生研究所安全情報部第三室室長)</p> <p>・パネルディスカッション「緊急時対応の考え方と暫定基準の適用について」 (司会) 関澤食科協理事長 パネリスト演者 4 名</p> <p>③食の安全を考える第 1 回勉強会「腸管出血性大腸菌食中毒に関する勉強会」 (8/1 於(財)冷凍食品検査協会)</p> <p>・「欧州における腸管出血性大腸菌 O104 食中毒の概要」 鶴身 和彦 (厚労省医薬食品局食品安全部監視安全課長補佐)</p> <p>・「焼肉酒家えびすの腸管出血性大腸菌 O111 食中毒をリスクアナリストの考え方でその対策を検討する」</p> <p>豊福 肇 (国立保健医療科学院国際協力研究部 上席主任研究官)</p> <p>④食の安全を考える第 2 回勉強会「食品の表示を考える」 (9/8 於芝エクセレントビル)</p> <p>・「トランス脂肪酸を例にして栄養表示を考える」 森田 邦雄 (食科協専務理事)</p>	<p>・福島原発事故に伴い食品中の放射性物質検査が行政、自治体、生産者、流通、消費者団体等で継続的に実施</p> <p>・4 月 富山県・福井県等の焼肉チェーン店で腸管出血性大腸菌 (O111、O117) による集団食中毒発生 有症患者 181 名 (内死者 5 名)</p> <p>・9/1 宮城県など東北 4 県のファミリーレストランで喫食した 14 人が細菌性赤痢(ソネ赤痢菌)を発症。ほとんどのメニューに共通して添えられている野菜の浅漬けが原因食の可能性指摘。</p> <p>・消費者庁で食品表示一元化検討会 9 月より開始</p> <p>・9/29 米国でリステリア汚染メロンによる食中毒で 13 人死亡</p> <p>・10/1 食品衛生法第 11 条第 1 項の規定に基づき、食品、添加物等の規格基準の一部が</p>

- ・「原料原産地表示を考える」 森田 満樹 (食科協常任理事)
- ・「食品表示の在り方を考える」 森田 邦雄 (食科協専務理事)
- ⑤食の安全に関するシンポジウム 「施行後5年を経過した残留農薬等のポジティブリスト制度の検証 ―特に一律基準及び規準に違反するものの取り扱いについて―」
(11/1 於(財)日本科学技術連盟本部) ((社)日本青果物輸入安全推進協会、(財)日本科学技術連盟との共催)
 - ・「ポジティブリスト制度に関するアンケートの結果について」 丸山 純一 ((財)食品産業センター技術環境部次長)
 - ・「国産農産物から見たポジティブリスト制度の検証」 住田 明子 (全国農業協同組合連合会肥料農薬部技術対策課調査役)
 - ・「輸入食品からみたポジティブリスト制度の検証」 太田 周司 ((社)日本青果物輸入安全推進協会技術顧問)
 - ・「 同上 」 西野 豊秀 ((社)全日本コーヒー協会専務理事)
 - ・「ポジティブリストの裏側」 小島 正美 (毎日新聞生活報道部編集委員)
 - ・「農薬等の基準を超えた農産物の回収等の考え方」 森田 満樹 (食科協常任理事)
- ⑥食の安全を考える第3回勉強会 「食品表示一元化論点整理を考える」 (3/22 於森下文化センター)
 - ・食品表示一元化検討会中間論点整理について 池戸 重信 (宮城大学教授・表示一元化検討会座長)
 - ・「食品表示一元化」について食品事業者の立場から 森 修三 ((財)食品産業センター企画調査部次長・表示一元化検討会委員)
 - ・「食品表示一元化」について消費者の立場から 山根 香織 (主婦連合会会長・表示一元化検討会委員)

改正され、生食用食肉の規格基準・表示基準が施行

- ・12/5 厚生労働省 食品衛生法に基づく安全性審査を経ていない遺伝子組換え微生物を利用した添加物 (5'-イノシン酸二ナトリウムと5'-グアニル酸二ナトリウム) への対応に関してプレスリリース
- ・3/24 鳥取県米子市で2名があずきばっとうを原因食とするボツリヌス症発症

3. その他の活動

- ①ニュースレター93号 (2011年4月号) ~104号 (2012年3月号) 発行
- ②電力事情悪化に対する食品安全の取り組み
「電力事情悪化への取り組み」を食科協ホームページに掲載 7/1
「計画停電時の飲食店における食品衛生への取り組みから」関係者に発信 8/4
「食品製造業における夏季電力節電に対応した品質衛生対策について」関係者に発信 8/17
- ③「食の安全ナビ検定クイズ」の充実
- ④関澤理事長：COOPNaviに「朝バナナや納豆、ダイエットサプリで痩せられますか？」ほかを4/2以降、12回にわたり連載で寄稿
- ⑤関澤理事長：第一回環境放射能セミナーで「最悪シナリオの考察と放射能防御」について話題提供 4/7
- ⑥伊藤顧問：榎アルボース主催「新型インフルエンザセミナー」にコーディネーターとして出席 5/27
- ⑦関澤理事長：2011年度静岡県食品技術研修会で「食の安全と安心のギャップを埋めるには―最近の事例を通して考える」6/1、秋田県食品安全セミナー「食と健康について考える～安全と安心のギャップを埋める～」6/10、東京理科大学2011年度第一回油化学セミナー「安全と安心、企業と消費者をつなぐリスクコミュニケーション」6/13、第29期食品保健指導士講習会で「リスクコミュニケーションの理論と実際」6/30、千葉県リスクコミュニケーションで「国際食品規格(コーデックス)と食品のリスクアナリシス」7/1で講演
- ⑧関澤理事長：日本リスク研究会春期シンポジウムで「食品の放射線に関する基準とその背景について知ろう」講演 6/3

<p>⑨関澤理事長：みやぎ生協主催メンバー研修会、石巻 10/11、仙台 10/19、登米 10/20、岩沼 10/21、大崎 12/6 で「放射性物質の基礎知識」講演</p> <p>⑩東京都「江東区民まつり」に参加 出展（食の安全ナビ検定クイズ実施）（10/16 於木場公園）</p> <p>⑪伊藤顧問：㈱アルボース主催「ノロウイルス対策セミナー」にコーディネーターとして出席 10/24</p> <p>⑫北村常任理事：千葉県主催リスクコミュニケーションで「食の安全を守るために」講演及び食の安全検定ナビクイズの実施 10/27</p> <p>⑬関澤理事長：東京都生協連「食の現在を考える連続講座第1回」で「食の安全と安心のギャップを埋める」11/16、山梨県生活協同組合連合会で主催「これ食べたからにいいの？」講演 11/26、ふくい・くらしの研究所主催嶺南で12/9、嶺北で12/10で「クイズで学ぼう 食の安全～正しい放射能の知識～」、コープ静岡沼津で2/14、コープ静岡浜松で2/29に「放射能に関する基礎講座」講演</p> <p>⑭関澤理事長：米国リスク研究学会よりリスク研究への貢献で Fellow の表彰受賞（日本人で2人目）12/6</p> <p>⑮関澤理事長：食品の放射性汚染リスクについての学習会活動が朝日新聞「リスク社会に生きる」連載記事の中で紹介 12/30</p> <p>⑯関澤理事長：「福島第一原子力発電所事故による放射性物質の食品汚染の現状評価とコミュニケーション」日本リスク研究学会誌 21 巻 3 号に掲載</p> <p>⑰関澤理事長：ユニーコープ食品自主基準検討委員会 第1回 2/21 に座長として出席。大分県食の安心情報提供会議の第1回 3/6 に出席</p> <p>⑱関澤理事長：東京都消費生活総合センター平成 23 年度第 3 回消費者団体情報交流集会で「食品に含まれる放射性物質の影響」講演 2/28</p> <p>⑲関澤理事長・北村常任理事・秋田運営委員：東京都生協連「食の現在を考える連続講座」で「食の安全ナビ検定クイズ」紹介 3/28</p>	
--	--

平成 2 4 年度 (2012. 04~2013. 03)	
活 動 内 容	食品衛生に関する主な社会動向
<p>1. 第 1 0 回総会 (5/28 於一般財団法人日本科学技術連盟本部)</p> <p>森田 邦雄専務理事が退任し常任理事に就任、大神 (東島) 弘明常任理事が専務理事に就任、常任理事石井 健二、横 孝雄両氏が退任し顧問に、常任理事三原 翠氏退任、秋田 勝、佐仲 登両氏が常任理事に、伊藤 澄夫、岩沼 幸一郎、小林 幹子 3 氏が理事に就任</p> <p>2. 講演会・勉強会・研修会等</p> <p>①公開会員研修会 最近における食品安全に関する話題について (5/28 於(一財)日本科学技術連盟本部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「最近の食品安全行政の動向」 滝本 浩司 (厚労省医薬食品局食品安全部監視安全課長) ・「食品表示の現状と課題～食品表示一元化を中心にして～」 今川 正紀 (消費者庁食品表示課課長補佐) <p>②第 1 回食の安全に関する勉強会「GFSI(国際食品安全イニシアティブ)の動向について」 (8/8 於(財)日本冷凍食品検査協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「GFSI の設立経過と今後の動向について」 杉浦 嘉彦 ((株)鶏卵肉情報センター代表取締役社長) ・「FSSC2000:2009 とは～食品安全システム認証～」 渡邊 清孝 ((一財)日本科学技術連盟食品安全審査室長) ・「日生協における食品の安全性確保の取り組み」 佐藤 邦裕 (日本生活協同組合連合会生鮮・運営本部開発本部) <p>③公開講演会 「食の安全管理に関する国際動向と日本の課題について」 (11/9 於(一財)日本科学技術連盟本部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食品安全のガバナンスの視点 国際動向と日本への示唆」 松尾 真紀子 (東京大学公共政策大学院政策ビジョン研究センター特任研究員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・4/1 食品中の放射性物質の新たな基準値が施行された ・4/17 厚労省、食品衛生法に基づく安全性審査を経ていない遺伝子組換え微生物を利用した添加物 (L-フェニルアラニン) への対応に関してプレスリリース ・5/18 大量調理施設衛生管理マニュアル改訂される ・6/25 牛の肝臓の生食の安全性を確保する知見が得られるまでの間、牛の肝臓の生食用としての販売を禁止する通知が出る ・8/2 容器包装詰低酸性食品によるボツリヌス食中毒防止対策が通知される

- ・「アセアン諸国の食品事情、食品バイヤーの視点から」 中村 眞 (日興インターナショナル(株)代表取締役)
- ・「輸入食品安全監視最前線の現状～東京検疫所の取り組みを中心に」 酒井 悟 (厚労省東京検疫所企画調整官)
- ・パネルディスカッション 講演者に加えて、田口 博人(社)大日本水産会技術顧問及び森田 満樹 (消費生活コンサルタント) が参加
田口氏から「何故、対 EU 輸出水産食品に係る加工施設認定は困難か」及び森田氏「輸入食品の安全確保～消費者から見た課題」とする意見発表
- ④第2回食の安全に関する勉強 「新食品表示のあり方と規制の仕組みなどを考える」 (2/8 於(一財)日本科学技術連盟本部)
 - ・新食品表示制度について 平山 潤一郎 (消費者庁食品表示課首席食品表示調査官)
 - ・食品表示一元化検討会報告と新食品表示制度について
池戸 重信 (宮城大学特任教授・宮城県産業技術総合センター副所長兼バイオ技術部長・表示一元化検討会座長(平成23～24年))
 - ・「新食品表示制度」食品事業者の立場から 森 修三 ((財)食品産業センター企画調査部次長)
 - ・「新食品表示制度」生協の立場から 鬼武 一夫 (日本生活協同組合連合会品質保証部安全政策推進室長)
 - ・パネルディスカッション 座長 森田 満樹 (食科協常任理事)
 - パネリスト 講演者 4名・食のコミュニケーション円卓会議代表 市川 まりこ

3. その他の活動

- ①食科協ニュースレター105号(2012年4月号)～116号(2013年3月号)発行
- ②関澤理事長：ユーコープ食品自主基準検討委員会第2回 4/14、第3回 6/9、第4回 9/8、第5回 10/27、第6回 2013/2/2 に座長として出席。
森田邦雄専務理事が有識者として第4回～第6回に出席。
- ③関澤理事長：大分県食の安心情報提供会議の第2回 3/19、3回 4/27、4回 7/27 に出席
- ④食の安全ナビ検定クイズニュースレター第7号発行 4/30
- ⑤消費者庁の食品安全基本法第21条に規定する基本的事項改訂へのパブリックコメント募集に対し、関澤理事長、大神(東島)専務理事両名の個人名で意見送付 5/30
- ⑥伊藤顧問：(株)アルボース主催感染症セミナーにコーディネーターとして出席 6/5
- ⑦「電力事情悪化への対応—その5」を食中毒予防6つのポイント(厚労省)、冷凍庫・冷蔵庫停電時影響調査、25項目自主点検票とともに発送 6/19
- ⑧関澤理事長：福島市主催・消費者庁共催の「食品と放射能」出前講座出講 (計4回) 6/25～27
- ⑨関澤理事長：ユッケ、生レバー生食食中毒につき読売新聞に「生産者から消費者まで危険性があることを前提に対策を取るべき」と記事掲載 6/12
- ⑩関澤理事長：葛飾区消費者団体セミナーで「食品に含まれる放射性物質の影響」 6/20、練馬区食の安全・安心講座で「今考えよう—食品と放射能」 8/17、広島消費者協会、消費者庁共催「食品中の放射性物質に関するリスクコミュニケーション」講演 9/28、岩手県「もりおか食の安全と絆フォーラム」盛岡 9/30 で講演
- ⑪関澤理事長・北村常任理事・秋田常任理事：生協連のリスクコミュニケーション担当者交流会で実践上の問題点と解決策を話し合った 7/12
- ⑫北村常任理事：千葉県主催リスクコミュニケーションで「食の安全を守るために」講演及び食の安全ナビ検定クイズの実施 7/17

- ・8月 北海道の複数の高齢者施設で浅漬を原因食とする腸管出血性大腸菌 O157 による食中毒が発生。死者7名
- ・10/1 東京都ふぐの取扱い規制条例が改正。ふぐ調理師以外は取り扱えないふぐ加工製品について、保健所に届出を行い、条例で定める表示があるふぐ加工製品に限り、ふぐ調理師以外の人でも取扱うことができることとなった。またふぐを食べることができる施設として、「認証を受けたふぐ取扱所」のほかに、「ふぐ加工製品取扱届出施設」が新たに加わる。
- ・10/12 漬物の衛生規範改正
- ・12月 広島市内の複数事業所で給食弁当による集団食中毒が発生。患者・従事者便からノロウイルスが検出される。患者数1,976名
- ・2/1 と畜場法施行規則及び厚労省関係牛海綿状脳症対策特別措置法施行規則の一部を改正する省令(平成25年厚生労働省令第8号)の改定により、BSE検査の対象月齢を現行の20ヶ月超から30ヶ月超に引き上げるなどBSE対策の見直しが行われた
- ・3/1 馬肉ユッケでO157による食中毒。長野県飯島町の食肉加工卸売会社「大成(たいせい)」がアルゼンチンから輸入の加熱用馬肉を「生食用」と偽装表示し販売
- ・3/31 中国上海でH7N9亜型鳥インフルエンザによる初めての感染事例報告される

- ⑬一部消費者団体の食品表示一元化検討会報告書と法案作成につき阿南久消費者庁長官との意見交換を予定していることに対し、公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会食生活特別委員会、食のコミュニケーション円卓会議、一般社団法人 Food Communication Compass と共同で、阿南長官に公開での意見交換会開催要望書を提出 10/5
- ⑭関澤理事長：台湾食品医薬品庁食品安全リスク分析ワークショップに招待され、日本の食品安全リスクコミュニケーションについて講演 10/15
- ⑮北村常任理事：千葉県主催リスクコミュニケーションで「食の安全を守るために」講演及び食の安全ナビ検定クイズの実施 10/18
- ⑯関澤理事長：消費者庁の食品表示新法ワークショップ出席 10/24 消費者庁の食品表示新法案意見交換会で、加工食品の原料原産地表示義務化などに関し食科協の意見を陳述 11/22
- ⑰消費者庁の食品表示新法に関するワークショップで提出した関澤理事長の意見陳述書をホームページに掲載 11/13
- ⑱消費者庁による食品表示新法案に関わるパブリックコメントの募集に食科協の意見を提出 11/30
- ⑲佐仲常任理事：千葉県主催リスクコミュニケーションで「食品添加物」講演 12/17
- ⑳関澤理事長：福井県鯖江市食の安全講座で「あなたの疑問・不安にお答えします！クイズで読み解く食の安全」2/14 (財) 日本冷凍食品検査協会放射性セミナー 2/20、東京都生協連「2012 年度食の連続講座—私たちの暮らしと食の情報」2/27 川崎市主催・消費者庁共催食の安全安心フォーラム「考えよう私たちの食環境」で「食品中の放射性物質による健康への影響リスク」3/9 で、講演
- ㉑関澤理事長：東京大学食の安全研究センター主催第 2 回リスクコミュニケーション委員会出席 2/18
- ㉒台湾 FDA の要請により「食の安全ナビ検定クイズ」の中国語および英語版作成のために資料提供 3/3
- ㉓関澤理事長：徳島県食の安全・安心審議会に会長として出席 7/31、3/13、とくしま食の安全・安心推進フォーラムで「今必要なリスクコミュニケーションとは」講演 3/14
- ㉔関澤理事長：コープみらいの広報誌に「食の安全の常識を考える—何かおかしくない」連載を開始
- ㉕関澤理事長：” Appropriate Risk Governance on Radionuclide Contamination in Food in Japan” 日本リスク研究学会誌 Emerging Issues Learned from the 3.11 Disaster as Multiple Events of Earthquake, Tsunami and Fukushima Nuclear Accident 特集号に掲載
- ㉖関澤理事長：「食品の放射性物質による汚染のリスクをどう考えて、 どう伝えるか？」食品衛生学雑誌 5 4 巻 2 号に掲載
- ㉗関澤理事長：” Other Aspects of BSE Issues in East Asian Countries” Risk Analysis vol.33 に掲載